

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【公表番号】特表2011-502872(P2011-502872A)

【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-533502(P2010-533502)

【国際特許分類】

B 6 0 C 19/12 (2006.01)

B 6 0 C 17/01 (2006.01)

B 2 9 D 30/38 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 19/12 A

B 6 0 C 17/01

B 2 9 D 30/38

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月7日(2011.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

取り付けリム(20)に取り付けられるよう構成されたタイヤ(11～14)の製造方法であって、

前記タイヤが、

各々が環状補強構造体(40)及び前記取り付けリムに接触するように構成されている受座(50)を備えた2つのビード(30)と、

トレッドを備えたクラウン(60)と、

各々が前記ビードと前記クラウンとの間に延びる2つのサイドウォール(70)と、一方のビードから他方のビードまで延びると共に各ビード内で前記環状補強構造体(40)に繫留されたカーカス補強アーマチュア(80)と、

前記カーカス補強アーマチュアの内側に半径方向に被着されたメンブレン(90)と、を有し、

前記メンブレンが、

(a)各ビード内で前記環状補強構造体に繫留されたメンブレン補強アーマチュア(91, 92)を有し、前記メンブレン補強アーマチュアは、実質的に半径方向に差し向けられ、即ち、円周方向に対して65°以上且つ90°以下の角度をなす補強要素の層(91)を含む前記メンブレン補強アーマチュアと、

(b)配合ゴムの気密層(94)と、を有し、

前記メンブレンは、前記メンブレンの一部が前記カーカス補強アーマチュアの一部と一緒にになって、横方向且つ円周方向に延びるチャンバ(100)を画定するよう構成され、前記チャンバは、前記カーカス補強アーマチュアの内側に半径方向に位置すると共に大部分前記クラウンの下に位置し、前記チャンバは、少なくとも1種類の流体で満たされ、

任意の半径方向断面で見て、前記メンブレンによって画定された前記チャンバの表面のトレースの湾曲長さL_mは、前記カーカス補強アーマチュアによって画定された前記チャンバの表面のトレースの湾曲長さL_cよりも大きく(L_m > L_c)、

前記カーカス補強アーマチュア(80)は、カーカス補強要素を含み、前記メンブレン補強アーマチュアは、メンブレン補強要素を含み、前記タイヤの製造に先立って、カーカス補強要素の高温縮み代 C_C は、前記メンブレン補強要素の高温縮み代 C_C_M よりも大きい、製造方法。